

目次

◆巻頭言 建設事業の自動化, ロボット化	中島英輔	1
首都高速道路公団における 新技術・新工法について	山内博明 平林泰	3

グラビヤ—首都高速道路の建設における新技術・新工法

ベルト型枠等を用いた トンネル1次覆工工法の開発	吉永優	10
生口橋上部工の架設計画	山岸一彦	15
第2新神戸トンネルの施工	横関美章 中野	21
スライドフードによる既設トンネルへの シールド地中接合法	成廣明雄 松島輝男	27
一日比谷築地管路新設工事		

◆随想 京の寺で	本田宜史	32
ボルト締結式セグメント 自動組立ロボットによるシールド施工	中水辰一夫 真野元博 飯島	34
—神奈川通共同溝(その11)工事		

「やじろべえ式」大屋根横引き工法	内須田治紀 梓谷学 小鶴彰治	41
—東京都中央卸売市場大田市場建設工事		

大径間トラベリング工法	遠山恒裕 落合宗夫 木星	47
—横浜アリーナ建設工事		

昭和63年度建設機械施工技術者試験 合格者の発表について	大屋寧佐	53
---------------------------------	------	----

◆新工法紹介		
SMW工法/MACH工法	調査部会	62
◆新機種ニュース	調査部会	64

◆文献調査		
透水性舗装を表面に敷いた浸透性路盤が調整池に 代って洪水を防ぐことに成功/舗装道路のパッチ	文献調査委員会	68
ングにおける弱点の解決		

◆ISO規格紹介		
土工機械に関するISO規格(36)	I S O 部会	70

◆建設機械化研究所抄報 <<147>>		
ROPS 静載荷試験		72
FOPS に対する重錘落下試験		72

◆統計		
建設工事受注額・建設機械受注額の推移	調査道会	83
行事一覧		84
編集後記	(岸本・鈴木)	86

<<既刊目次一覧(昭和63年1月号~12月号)>>

表紙写真説明

三菱ホイールローダWS 200 A

三菱重工業株式会社

「おしゃれな街にもよく似合う」をキャッチフレーズにオールマイティ機としての「機械性能」に「周辺環境との調和」を両立させたシティー感覚のニューホイールローダを今年10月から新発売した。

誰にでも簡単に軽快に運転ができることにこだわった行き届いた設計で、土木建設工事はもちろん、造園、畜産、除雪工事など多用途に使える万能機である。

最新鋭のマイコン制御による低速ロックスイッチ付自動変速トランスミッションの採用や自動エア抜き機構、ガススプリング付フルオープンフードなど数多くの特徴を備えた機械である(写真のキャブは特別装備品)。

主な仕様

総重量	2,500 kg
バケット容量	0.4 m ³
エンジン定格出力	28 PS/2,400 rpm
最小旋回半径 (最外輪中心/バケット最外側部)	3,020/3,540 mm
登坂能力	30°
走行速度	前後進 0~15 km/hr